



第 176 回 戦後の国際体制

1 国際連合の発足

- ・大戦中の大西洋憲章、連合国共同宣言、モスクワ宣言、()
を経て、国際連盟に代わる新しい国際機関の設立が決まっていた。
→1945 年 4～6 月に () が開かれて ()
が採択され、10 月に 51 か国が加盟する国際連合が発足した。

★ () (1945～2021 年現在)

本部…アメリカの ()

- ・全ての加盟国が平等に参加する () を基本としたが、経済制裁や軍事制裁
など強力な権限を持つ () が設置された。
※アメリカ・ソ連・イギリス・フランス・中華民国の 5 カ国は、()
とされ () が与えられたが、非常任理事国には与えられていない。
- ・経済社会理事会が設置されたほか、国際連合教育科学文化機関 () ・
国際司法裁判所・国際労働機関 (ILO) ・ () ・国連食糧
農業機関 (FAO) ・国連児童基金 () などが設置された。
- ・1948 年、第 3 回国連総会で () が採択された。



国際連合の本部ビル

本部はニューヨーク
のマンハッタンにあ
る 39 階のビルであ
る。加盟国は 2011
年に独立した南スー
ダンを加えて、193
か国となった。



本部前のモニュメント

本部の前には、ね
じ曲げられた銃の
彫刻が置かれてい
る。平和を目指す
という国連の精神
をあらわしたもので
あろう。



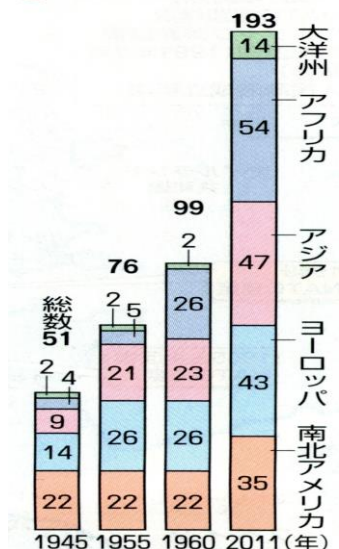
第1回の総会

総会は、1 国が 1 票
の権利を持ち、重要
な案件については 3
分の 2 以上の賛成
を必要とする。安全
保障理事会とは違
い、決議に拘束力
はない。

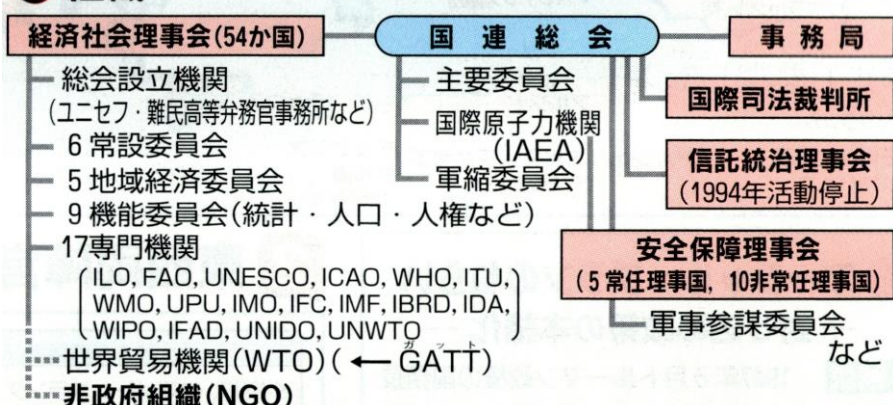
<世界経済>

- ・世界経済では () ・ () が設立され、
固定相場の金ドル本位制である () が成立した。
- ・1947 年、自由貿易体制を目指す () が調印された。

B 加盟国の推移



C 組織



2 敗戦国の扱い

- ・連合国はドイツと日本を占領し、戦争指導者を戦犯として国際軍事裁判で裁いた。
- ・イタリアなどその他の枢軸国については、1947 年、パリ講和条約が結ばれた。

<ドイツ>

- ・ドイツは、米・英・仏・ソの4カ国によって分割占領され、ポツダム協定に従って非ナチ化が進められた。
※同じく首都のベルリンも4カ国によって分割管理された。
- ・1945 年 11 月、() が開かれ、ナチスの指導者が裁かれた。
- ・オーストリアも、やはり4カ国によって共同管理された。



<日本>

- ・日本は、マッカーサーを最高司令官とする連合国軍総司令部によって、占領された。
- ・()、()、()、教育改革などが行われた。
- ・1946 年、極東国際軍事裁判所が設置され、いわゆる()が行われた。
→東条英機ら日本の戦争指導者が裁かれた。
- ・1946 年 11 月、戦争放棄や国民主権をうたった()が公布された。



ニュルンベルクは、ナチスの党大会が開かれた場所である。前列左から、ゲーリング、ヘス、リッペントロップ。12 名が死刑判決を受けた。



マッカーサー元帥

マッカーサーは、昭和天皇を処罰せずに日本を統治することを選択した。「I shall return」や「老兵は死なず」など、名言も多い。

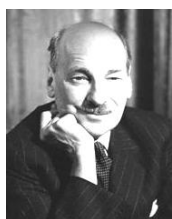


東京裁判の東条英機

元首相の東条英機をはじめとし、A 級戦犯7名に死刑が宣告された。しかし連合国の戦争犯罪は一切裁かれなかった。

3 戦後のイギリス

- ・イギリスは、第二次世界大戦に勝利はしたが、各地の植民地が次々に独立を果たしていき、世界におけるイギリスの影響力は大きく低下していった。



アトリー首相
マクドナルド以来の労働党政権。「ゆりかごから墓場まで」のスローガンで、福祉の充実に努力した。

◆ () (労働党) (在任 1945～1951 年)

- ・大戦中の 1945 年、チャーチルに代わり()に参加した。
- ・労働党内閣であり、社会福祉制度の充実や()を行った。
- ・1947 年、()とパキスタンが、英連邦内の自治領として独立した。
- ・1949 年、エールが英連邦から離脱し()と改称した。



ポツダム会談(後半)

イギリスのアトリー(左)、アメリカのトルーマン(中央)、ソ連のスターリン(右)。会談後のポツダム宣言により、日本の無条件降伏が勧告された。



アイルランドの国旗

1921 年にすでに独立を果たしていたが、完全にイギリスから離れた。しかし北アイルランド問題は未解決のまま残った。国旗の色は、左から緑・白・オレンジである。